

2025年9月3日作成
第1.0版

当院で診療を受けられた患者さん・ご家族様へ 臨床研究へのご協力のお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究では、普段の診療で得られた試料・情報を使用させていただくものです。この研究のために、新たに診察や検査などを行うことはありません。以下の試料・情報を研究に用いられたくないお考えの患者さんまたはご家族の方は、遠慮なくお申し出ください。お申し出いただいた患者さんの試料・情報は使いません。また、研究への参加にご協力いただけない場合でも、患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

病理組織の残余検体を用いた皮膚疾患の病態解明

1. 対象となる患者さん

2005年4月～2025年3月の間に当院で皮膚生検や手術を受け炎症性皮膚疾患や皮膚腫瘍と診断された患者さん

2. 研究責任者

奈良県立医科大学附属病院 皮膚科 光井 康博

3. 研究の目的と意義

この研究では、炎症性皮膚疾患や皮膚腫瘍の患者さんから皮膚生検や手術で採取された皮膚の検体を用い、免疫染色（ある特定のたんぱく質の発現量を確認する手法）やDNAマイクロアレイ解析（網羅的な遺伝子の発現量を測定する方法）などを行い、病気の原因を探るための研究を行います。また、患者さんのカルテ情報から治療に関する傾向を調べます。この研究の成果は、新しい治療標的の探索や患者さんごとの最適な治療法の選択に繋がることが期待されます。

4. 研究の方法

この研究では、炎症性皮膚疾患や皮膚腫瘍と病理診断された患者さんを対象に、皮膚の病理組織検体を用いて病気の仕組みを明らかにするための解析を行います。また、5. に示す情報を対象の患者さんのカルテから収集し、病気の治療に関する傾向を分析します。

5. 使用する試料・情報

生体試料：手術や生検で摘出した皮膚組織

診療情報：年齢、性別、診断名、既往歴、家族歴、臨床症状（発症時期、皮疹の性状、重症度、病理組織学的所見、皮膚検体採取部位）、臨床写真、血液検査結果

6. 試料・情報の管理責任者

奈良県立医科大学 学長

7. 研究期間

研究機関長の実施許可日～2030年3月31日

8. 個人情報の取り扱い

対象となる患者さんの個人情報は厳重に管理し、利用する情報等からはお名前や住所等、個人を特定できる情報は削除し、研究番号に置き換えて使用します。また、研究成果を学会や学術誌等で公表する際も個人を特定する情報は公表しません。

9. お問合せ先

奈良県立医科大学附属病院 皮膚科 光井 康博

住所：奈良県橿原市四条町840番地

電話：0744-22-3051

e-mail：dermatol@naramed-u.ac.jp